

## 栄養機能食品の表示の基準の見直しについて

### 1. 経緯

- 栄養機能食品（栄養素の機能を表示する食品）の表示の基準のうち、栄養素含有量の基準（上限値及び下限値）については、第6次改定栄養所要量（以下、単に「栄養所要量」という。）を基に定めたものである。
- 今般、栄養所要量の位置づけ、定義等が全面的に見直され、新しく「日本人の食事摂取基準（2005年版）」が策定されたことに伴い、栄養機能食品の下限値及び上限値の見直しを行う。

### 2. 栄養所要量及び食事摂取基準の概要

- 栄養所要量及び食事摂取基準は、栄養素ごとに性・年齢階級別に設定されるもので、原則として、
  - ① 推定平均必要量（実測値をもとに推定した日本人の必要量の平均値で、当該性・年齢階級に属する人々の50%が必要量を満たすと推定される数値）
  - ② 推奨量（日本人の必要量の平均値に標準偏差の2倍を加えたもので、当該性・年齢階級に属する人々の約98%が必要量を満たすと推定される数値）の2つの数値がセットで定められる。
- 一方、栄養素が食品成分表にない等の理由により必要量の測定ができず、実測値をもとに推定する①推定平均必要量及び②推奨量の数値が定められないものがあり、①推定平均必要量及び②推奨量に代わる数値として
- ③ 目安量（ある性・年齢階級に属する人々が良好な栄養状態を維持するのに十分な量）  
を設定している。これは、健康な集団の摂取量の中央値をあてていることから、②推奨量よりも大きな数値であると想定される。

### 3. 調査会での検討結果

- （1）栄養機能食品の下限値の見直しに先立って必要な整理
- 栄養所要量及び食事摂取基準の中心概念である①推定平均必要量・②推奨量については、栄養指導や食品表示においてどちらを用いるかという問題があるが、平均的な個人又は集団にとって必要な量（推定値）に基づき当該食品の栄養的な特徴を情報提供することが適当であると考えられることから、①推定平均必要量の数値を用いる。
- ①推定平均必要量・②推奨量がない場合については、これらに比べて科学的

根拠はやや低くなるものの③目安量を用いる。

- ①推定平均必要量又は③目安量を食品表示において用いるに当たっては、性・年齢階級別に設定されている数値を一つにまとめる必要があるため、性及び年齢ごとの人口比を踏まえて加重平均をとった。これを栄養素等表示基準値とする（資料4参照）。

（2）栄養機能食品の下限値及び上限値の見直し（資料4参照）

- 栄養機能食品の下限値は、従前の考え方を踏襲すれば栄養素等表示基準値の1/3（1食分相当量）となるが、今回その考え方を再検討したところ、機能表示以外の栄養表示（栄養素の機能を表示せず、単に食品が栄養素を「含む」ことについての表示）に係る基準との整合性、CODEX等における国際的な議論等を踏まえ、栄養素等表示基準値の30%とすることが適当である。
- 栄養機能食品の上限値については、従前の考え方（過剰摂取による健康障害を起こすことのない最大摂取量として栄養所要量及び食事摂取基準で設定されている量や国民栄養調査等により調査された摂取量、医薬部外品の最大分量等を参考として設定する）を踏襲することとし、食事摂取基準において健康障害を起こすことのない最大摂取量について新たな知見が得られた銅及びナイアシンの基準を再計算した。

栄養素等表示基準値に基づき算出した栄養機能食品の表示の基準(案)

栄養素	単位	1日当たり摂取目安量の上限値		1日当たり摂取目安量の下限値			(参考) 栄養素等表示基準値		(参考) 日本人の食事摂取基準(2005年版) 上限値
		現行	改正案	現行	基準値 ×0.3 (A)	改正案 ※(A)を端 数処理	現行	改正案	
カルシウム	mg	600	600	250	210	210	700	700	2300
鉄	mg	10	10	4	2.25	2.3	12	7.5	55
マグネシウム	mg	300	300	80	75	75	300	250	350
銅	mg	5	6	0.5	0.18	0.2	1.8	0.6	10
亜鉛	mg	15	15	3.0	2.1	2.1	10	7	30
VA	μgRE	600	600	180	135	135	540	450	3000
VD	μg	5	5	0.9	1.5	1.5	2.5	5	50
VE	mg	150	150	3.0	2.4	2.4	10	8	800
B1	mg	25	25	0.3	0.3	0.3	1	1	—
B2	mg	12	12	0.4	0.33	0.3	1.1	1.1	—
ナイアシン	mgNE	15	60	5.0	3.3	3.3	15	11	※ <sup>1</sup> 300※ <sup>2</sup> (100)
B6	mg	10	10	0.5	0.3	0.3	1.5	1	60
葉酸	μg	200	200	70	60	60	200	200	1000
B12	μg	60	60	0.8	0.6	0.6	2.4	2	—
ビオチン	μg	500	500	10	13.5	13.5	30	45	—
パントテン酸	mg	30	30	2	1.65	1.7	5	5.5	—
VC	mg	1000	1000	35	24	24	100	80	—

※1ニコチン酸アミド※2ニコチン酸